

議会運営委員会の概要

1 6月定例会の招集見通しについて

- ・総務部長から、6月定例会を6月16日(火)に招集したい旨の説明があり、了承された。

2 6月定例会の会期と日程（見込み）について

- ・議事調査課長から、資料「令和8年山形県議会6月定例会日程（見込み）」により、6月定例会の会期は、6月16日(火)から7月3日(金)までの18日間となる見込みである旨の説明があり、了承された。

3 その他

（1）生徒・学生と県議会議員との意見交換会の開催について

- ・政策調査室長から、資料「生徒・学生と県議会議員との意見交換会の開催について」により説明があり、了承された。

（2）クマの目撃状況とクマによる人身被害の状況について

- ・環境エネルギー部長から、資料「クマの目撃状況とクマによる人身被害の状況について」等により説明があった。

【発言概要、質疑等】

（阿部副委員長）県では、ガバメントハンターを養成するため、狩猟免許の取得を進めているが、免許を取得しても、すぐに現場で実践することは難しいと聞いている。今後の人材育成についてどのように考えているのか。

⇒（環境エネルギー部長）クマの駆除でライフル銃を使用する場合には10年の経験が必要であり、市町村でも猟友会と連携して駆除を行っているが、緊急銃猟で市街地での銃器の使用となると、対応できる会員は限定されている。令和7年度は、クマを1,600頭駆除しており、この状況が続けば、猟友会には引き続き御負担、御苦勞をおかけすることが想定される。県では、ゆくゆくは中間支援組織を作り、今後、担い手の確保が難しくなる状況を踏まえ、人材育成・確保を含めて、行政が責任を持って鳥獣被害対策を行っていく体制の構築を検討している。

（五十嵐委員）知事が、山菜採りの自粛を呼びかけたのは適切だと思う。しかし、小国町、飯豊町などでは、新潟県、福島県など県外から山菜採りに来る人が多いため、隣県にも自粛を呼びかけないと、これらの方がクマに遭遇する可能性があると思うが、どのような対応をしているのか。

⇒（環境エネルギー部長）県外の方への周知は現在行っていないので、委員の発言を踏まえ、どのようなことができるか考えていきたい。

（五十嵐委員）地域の方も心配しているので検討して欲しい。また、これからワラビの時期になる。生業としてワラビを栽培している方や観光ワラビ園を行っている方々も多く、

クマの出没により影響が出る可能性がある。コロナ禍の時は補償があったが、客数が落ち込み、収入が減少した場合などの支援について、どのように考えているのか。

⇒（環境エネルギー部長）観光ワラビ園などで具体的な問題が生じた場合には、市町村、地域がどのように考えているのかを聴きながら、関係部局と連携して対策を検討する必要があると考えている。

（伊藤委員）舟形町にある県猟友会射撃センターのライフル射撃場について、令和6年7月の大雨で流入した土砂が堆積し、300mの射的に対し、半分の150mしか利用できない状態が続いている。クマと対峙する際、クマとの距離が150mしかない場合、1発目の銃弾がはずれた場合、2発目を撃つ時にはクマが目前まで迫ってくるため、300mの射的での練習は必須である。猟友会では舟形町を通して県に対し、自費での復旧は難しいため、支援を求める要望を行っているが、県から復旧を支援するなどの話がない。県と猟友会はお互い協力して鳥獣被害対策を行っていく必要があるため、猟友会がクマの駆除に対応できるよう、県でも復旧に向けた対応を取る必要があると思う。部長も現場を見て、猟友会、舟形町、県が何をすることができるのか、精査をして欲しい。

⇒（環境エネルギー部長）舟形町からの要望もあり、状況は認識している。復旧費用が高額なことや県の施設でないことから、国の支援がないと復旧が難しいため、政府の施策等に対する提案の中に「クマの春季捕獲の射撃訓練に必要な300m級射撃場について、被災した施設の復旧について国の交付金の支援対象に含めて欲しい」と盛り込んでいる。現場の状況を注視しながら、国へ要望を引き続き行っていく。

（伊藤委員）政府の施策等に対する提案が実現するまで放置しておくのか。放置することなく、一定程度、県が支援して、どう復旧に近づけるのか議論してほしい。

（3）その他

【発言概要、質疑等】

（梅津委員）5月6日に磐越自動車道で起きたマイクロバス事故に関連して、県で公立高等学校への調査をするという話がある。どのような内容の調査をする予定なのか。また、既に調査を始めている私立高等学校に対する調査内容との間に違いがあるのか。

⇒（総務部長）生徒の移動方法についての実態調査を、総務部から県内15校の私立高等学校に対して5月11日に、教育局から県内39校の県立高等学校及び中高一貫校である県立中学校2校に対し14日に発出しており、現在、各学校で回答作業を進めている。調査内容は、4月29日から5月6日の本年度の大型連休期間を調査対象期間として、部活動における県内外への遠征の有無、移動方法（公共交通機関、貸切バス、学校所有のスクールバス等）のほか、県立高校では、安全確認の方法が行われているかについて、調査する内容となっている。調査結果は共に来週をめどにとりまとめ、来週末に公表できるよう作業を進めたいと考えている。

（梅津委員）県では平成23年の天元台での事故を踏まえ、独自に基準を定めているが、その基準は今回の調査を踏まえて改正するのか。また、国から基準の改正について指示が出ているのか。

⇒（総務部長）県立高校には、平成23年の事故を踏まえ通知を出している。今回の調査は、この通知に基づき、管理職が遠征計画の安全性を確認しているのか、

部活動で使用するマイクロバスを学校が保管しているのか、遠征に関する安全確保について指導をする機会を設けているのか等の調査内容になっている。国土交通省の記者会見によると、事実関係が明らかになった後に、国土交通省、文部科学省において、今回の事故を踏まえた対応を検討するとのことであり、県でも事実関係や国の動向を注視しながら、対応について検討をしていく。

(吉村委員) 中学校での部活動の遠征は、保護者がボランティアで送迎している場合が多い。安全対策については中学校でも議論をすべきである。中学校についてはどのように考えているのか。

⇒(総務部長) 今回、総務部及び教育局で行う調査は、県立高等学校、私立高等学校等について短期間で緊急的に調査をするものである。市町村立の中学校の実態調査については、各設置者の判断で行っていると聞いており、教育局で統一的な調査を緊急に行う予定はないが、安全対策は県教育委員会と市町村が連携して行っていきたい。

(木村委員) 5月2日の強風で、山形新幹線が板谷駅と庭坂駅の間で約4時間50分運行不能となり、県内では7,500人に影響が出た。連休中の米沢上杉祭りの時期と重なり、米沢には代替の交通手段がないため、観光にも大きな影響があった。板谷駅と庭坂駅の間で倒木の恐れのある箇所は、JR東日本は予測できるのではないかと思う。安定運行に対する申し入れを行って欲しい。

⇒(総務部長) 今回の遅延は、県内観光、帰省の需要にも影響を及ぼすものである。在来線を含め山形新幹線の安定性向上、定時運行に対して、毎年度の山形県鉄道利用・整備強化促進期成同盟会において、JR東日本に要望しているが、今回の事象を踏まえ、担当部局においてもJR東日本への要望活動に反映するために、状況を把握していく。

6 次回議運開催日時

6月9日(火) 午前10時

議 会 運 営 委 員 会 協 議 事 項

令和8年5月15日（金）

午 前 10 時

- 1 6月定例会の招集見通しについて

- 2 6月定例会の会期と日程（見込み）について

- 3 その他

- 4 次回議運開催日時
6月9日（火）午前10時

令和8年 山形県議会 6月定例会日程（見込み）

会期：6月16日（火）～7月3日（金）〔18日間〕

〔令和8年5月15日現在〕

月	日	曜	議 会 日 程	開 始 時 刻	会 場
6月	16日	火	会派協議会 ※	午前9時30分	議長応接室
			議会運営委員会	午前10時	議会運営委員会室
			本会議 (開会、議案上程、知事説明)	議会運営委員会終了後	議場
			議案説明会	本会議終了後	予算特別委員会室
17日	水	(議案調査日)	—	—	
18日	木	会派協議会 ※	午前9時30分	議長応接室	
		議会運営委員会	午前10時	議会運営委員会室	
19日	金	本会議 (代表質問)	午前10時	議場	
20日	土	(休日)	—	—	
21日	日	(休日)	—	—	
22日	月	本会議 (一般質問)	午前10時	議場	
23日	火	(議案調査日)	—	—	
24日	水	予算特別委員会	午前10時	予算特別委員会室	
25日	木	予算特別委員会	午前10時	予算特別委員会室	
26日	金	予算特別委員会	午前10時	予算特別委員会室	
27日	土	(休日)	—	—	
28日	日	(休日)	—	—	
29日	月	会派協議会 ※	午前9時30分	議長応接室	
		議会運営委員会	午前10時	議会運営委員会室	
		本会議 (予算特別委員長報告、議案・請願各常任委員会付託)	議会運営委員会終了後	議場	
		各常任委員会における意見調整 ※	本会議終了後	各委員会室	
30日	火	総務常任委員会	午前10時	第1委員会室	
		文教公安常任委員会		第2委員会室	
		厚生環境常任委員会		第6委員会室	
		農林水産常任委員会		第5委員会室	
		商工労働観光常任委員会		第4委員会室	
		建設常任委員会		第3委員会室	
7月	1日	総務常任委員会	午前10時	第1委員会室	
		文教公安常任委員会		第2委員会室	
		厚生環境常任委員会		第6委員会室	
		農林水産常任委員会		第5委員会室	
		商工労働観光常任委員会		第4委員会室	
		建設常任委員会		第3委員会室	
2日	木	持続可能なインフラ・安全安心なまちづくり対策特別委員会	午前10時	第1委員会室	
		多様な人材活躍・関係人口交流人口対策特別委員会		第6委員会室	
		地域経済力強化対策特別委員会		第2委員会室	
3日	金	会派協議会 ※	午前9時30分	議長応接室	
		議会運営委員会	午前10時	議会運営委員会室	
		本会議 (各常任委員長報告、採決、閉会)	議会運営委員会終了後	議場	

注1) ※の会議等は非公開となります。

注2) 上記日程は令和8年5月15日現在のものであり、日程の追加や変更がなされる場合がありますので十分ご留意願います。

生徒・学生と県議会議員との意見交換会の開催について

実施校及び日程等について

〔9月実施分まで〕

1 日本大学山形高等学校

日 時：令和8年6月11日（木）14:00～15:30（予定）

場 所：議会棟

対象者：生徒会役員 約10人

2 新庄志誠館高等学校

日 時：令和8年7月7日（火）14:25～15:25（予定）

場 所：学校

対象者：生徒 約30人

3 小国高等学校

日 時：令和8年9月10日（木）15:30～16:30（予定）

場 所：学校

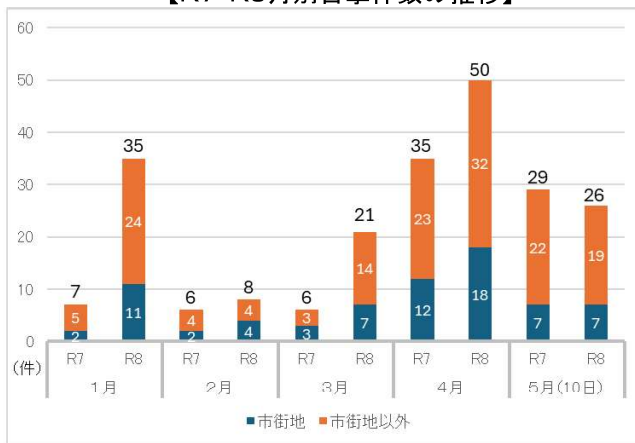
対象者：生徒 約10人

クマの目撃状況とクマによる人身被害の状況について

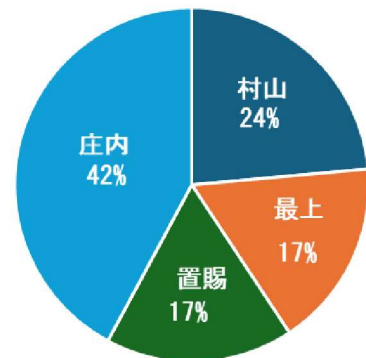
1 クマの目撃状況について

- 今年のクマの目撃件数（1月1日～5月10日）は、140件で、過去最多となった昨年を上回るペース（昨年同期83件の約1.7倍）で増えている。
- 地域別では、庄内地域での目撃件数が4割強を占めている。

【R7・R8月別目撃件数の推移】



【R8目撃件数の地域別割合】



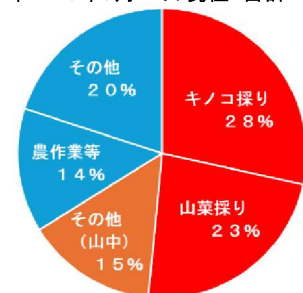
2 クマによる人身被害の状況について

- クマの目撃件数の多い年は、クマによる人身被害の件数も多い傾向にある。
- 山菜採りやキノコ採りでの人身被害は毎年一定数発生しており、過去に発生した人身被害件数の半数以上を占めている。
- 山に入らざるを得ない場合は、十分な対策を講じた上で、細心の注意を払う必要がある。

【過去5か年のクマの目撃件数と人身被害件数】

	R4	R5	R6	R7	R8
目撃件数	376	765	348	3,079	140
人身被害件数	2	5	3	13	2
うち 山菜採り	2	1	1	—	2
うち キノコ採り	—	2	—	1	—

【人身被害に遭った場面別割合】
※S52年～R8年5月10日現在:合計130件



3 県の対応について

- (1) クマ目撃情報を地図上で確認できるアプリ「けものおと2」を4月から本格稼働し、最新の情報を提供
- (2) 県政広報媒体（ホームページ、ラジオ、新聞、テレビ、SNS）による注意喚起
- (3) 地元紙と連携した新聞広告掲載（4月24日掲載）
- (4) 市町村による住民への注意喚起を依頼
- (5) 県事業（県猟友会委託）として、クマの春季捕獲（3月20日～5月19日）を実施

春夏は出没増加

クマに注意!



山菜採り
タケノコ採り
農作業
溪流釣り
森林施業

① クマから見れば、森林は自分の領分。人は侵入者です。クマに自分の存在を知らせましょう。また、複数で行動するようにしましょう。

山林や山林近くの田畑に行くときは複数で行動し、ラジオやクマ鈴、笛など音の出る物で、人の存在をクマに知らせましょう。

② 子連れのクマに注意してください。

子グマを見たら、近くに母グマがいて、警戒していると思ってください。危険ですので、周囲に注意しながら、できるだけ早く遠ざかりましょう。

③ 万一、クマに出会ったら、背を向けずに、クマを見ながらゆっくり後退してください。

クマ撃退スプレーの使用も有効です。

④ 生ゴミを放置しないでください。

人にとってはゴミや不要な物でも、餌付けしているのと同じです。

⑤ 市街地周辺のやぶなどは刈り払しましょう。

クマは河川敷などの緑地に隠れて移動します。刈り払いでクマの市街地出没を防ぎましょう。

備えは万全に



ラジオ



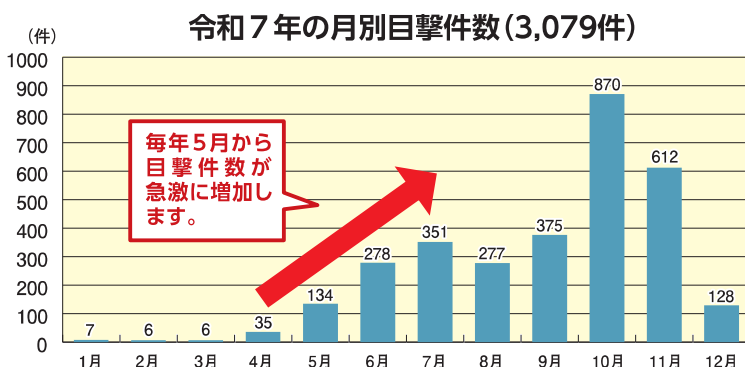
笛



クマ撃退スプレー



クマ鈴



最新のクマ目撃情報を確認できるアプリ(けものおと2)のダウンロードはこちらから▼

App Store または Google Play からダウンロード

けものおと2 検索

ログインID: kuma
パスワード: kuma

【5月～7月の人身被害35人(県内)】(S52～R7)

- 山菜採り 25人 (この内1人死亡)
- 溪流釣り 1人
- 森林施業中 1人
- 散歩・ランニング中 3人
- 自宅へ侵入 1人
- 農作業・見回り中 3人
- 登山中 1人



【クマに関する情報】

山形クマ

検索



山形県みどり自然課鳥獣被害対策室

☎023-630-3042

リサイクル適性A
ご目撃情報は、任意で利用させていただきます。